

## 令和7年度 教育活動アンケート（前期）の結果から

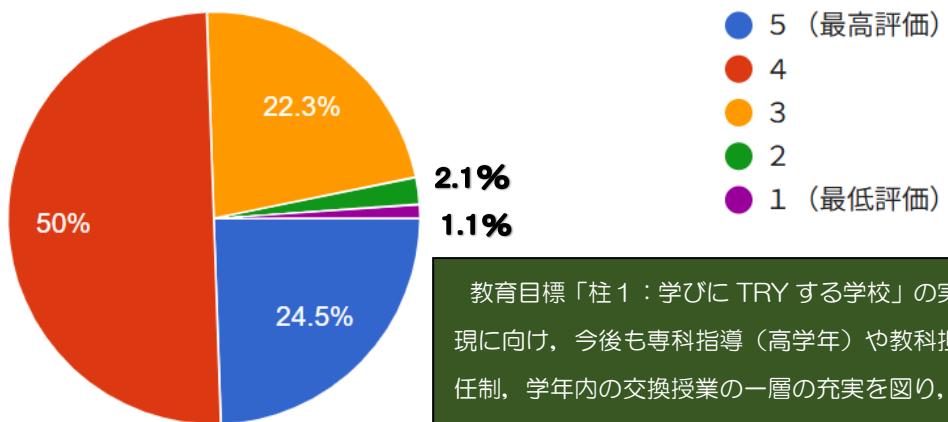
保護者の皆様におかれましては、平素より本校の教育に際し、御理解と御協力を賜り心より感謝しております。

さて、過日御協力いただきました「教育活動アンケート」につきまして、全体の集計結果（回答数94件）をお知らせするともに、お寄せいただいた御意見に対しての学校の見解をお伝えします。

### 質問1 お子さんは、学習内容をきちんと理解していますか？

94件の回答

評価平均  
3.9

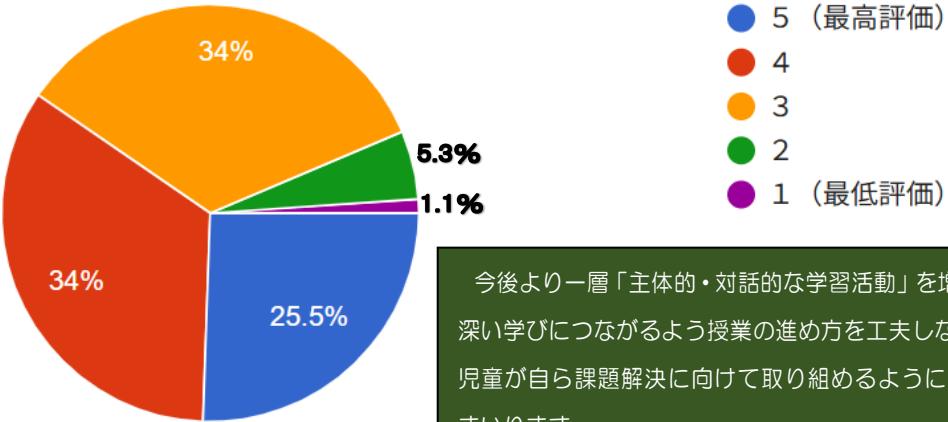


教育目標「柱1：学びにTRYする学校」の実現に向け、今後も専科指導（高学年）や教科担任制、学年内の交換授業の一層の充実を図り、学習指導要領の主旨に沿った授業改善を行なながら、知識・技能の確実な定着を目指してまいります。

### 質問2 お子さんは、わからないことやもっと知りたいことがあった時に、自分から調べたり、他の人に尋ねたりして学びを深めようとしていますか？

94件の回答

評価平均  
3.8



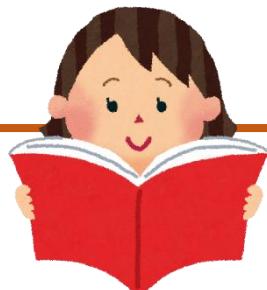
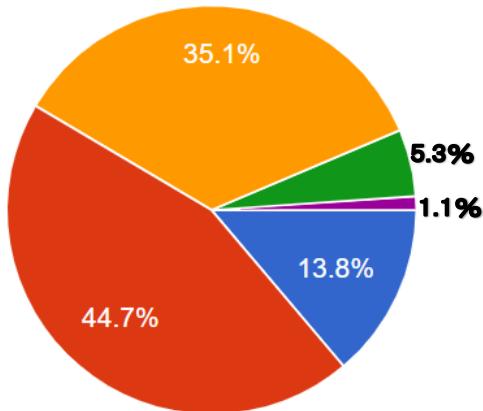
今後より一層「主体的・対話的な学習活動」を増やし、深い学びにつながるよう授業の進め方を工夫しながら、児童が自ら課題解決に向けて取り組めるように進めてまいります。

また、タブレットについても、より効果的に自主的な活用ができるよう、学校全体で取り組んでいきます。

質問3 お子さんは、自分の考えや伝えたいことを、きちんとした言葉で相手に伝えたり、文章にして書いたりすることができるようになってきましたか？

94件の回答

評価平均  
3.6



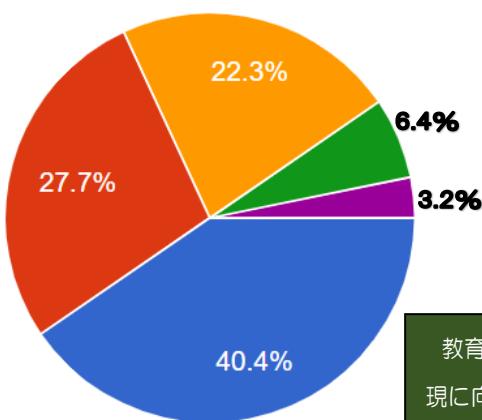
本校の児童が苦手としている、「条件つき作文」や「要約」、「資料のまとめ」等にも学校全体で取り組み、苦手克服に努めるとともに、自分の考えなどを言葉を整理しながら書いたり話したりすることができるよう、授業の中でも取り組んでいきます。

また、外部から読み聞かせをしてくださる方を招聘し、児童の読書活動が活発になるような取組も進めてまいります。

質問4 お子さんは、体をよく動かし、体力をつけていますか？

94件の回答

評価平均  
4.0



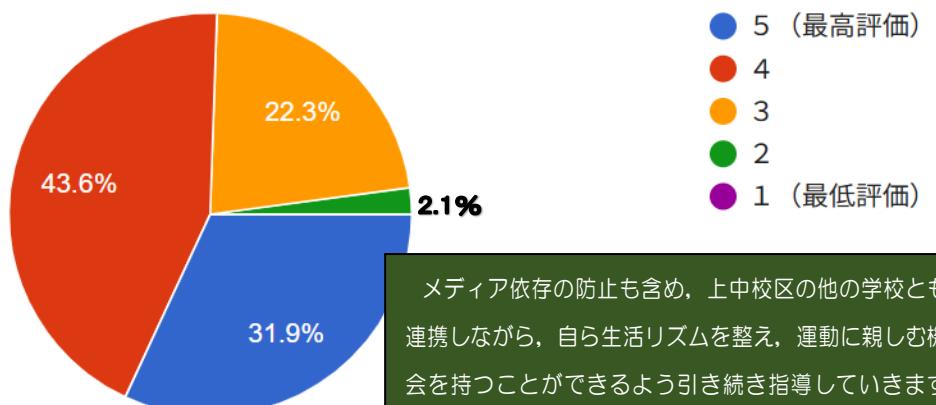
教育目標「柱2：体づくりにTRYする学校」の実現に向け、今年度より「体育エキスパート教員」を配置し、運動が苦手な子でも楽しく取り組めるように、逆に得意な子が自分のスキルをどんどん伸ばしていくように授業改善を行っております。

また、運動会やマラソン記録会、遠足等の行事を通じて児童の体力向上に努めるとともに、全学年で取り組んでいる「新体力テスト」が子ども達の励みとなるよう、考査をしっかりと行い、掲示板を活用した結果の公表などに取り組んでいます。

## 質問5 お子さんは、生活リズムに気をつけ、規則正しい健康的な生活を送っていますか？

94 件の回答

評価平均  
4.1



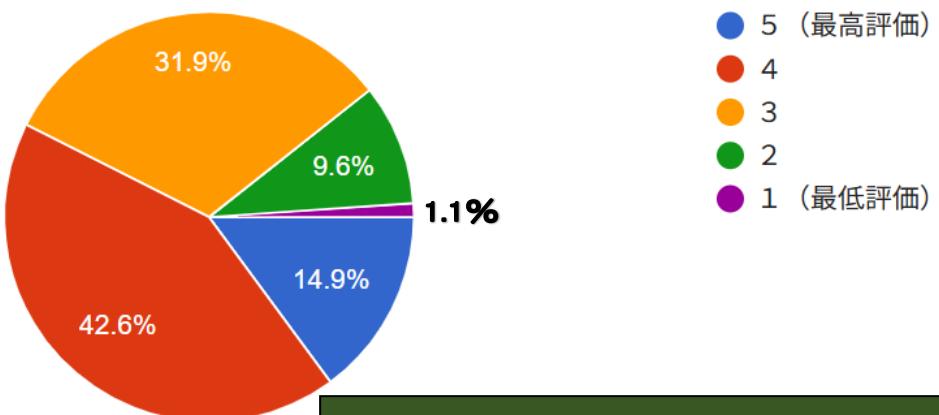
メディア依存の防止も含め、上中校区の他の学校とも連携しながら、自ら生活リズムを整え、運動に親しむ機会を持つことができるよう引き続き指導していきますが、保護者の方の御理解と御協力も不可欠です。

毎年の調査でも、朝ごはんをしっかり食べている児童の方が学力が高い傾向にある一方で、生活リズムの乱れが登校渋りや不登校につながることもあります。「はやね・はや起き・あさごはん」が日常となるよう、御協力をお願いいたします。

## 質問6 お子さんは、テレビやゲーム、動画などの視聴時間に気をつけるとともに、SNSなどの利用にも注意を払っていますか？

94 件の回答

評価平均  
3.6



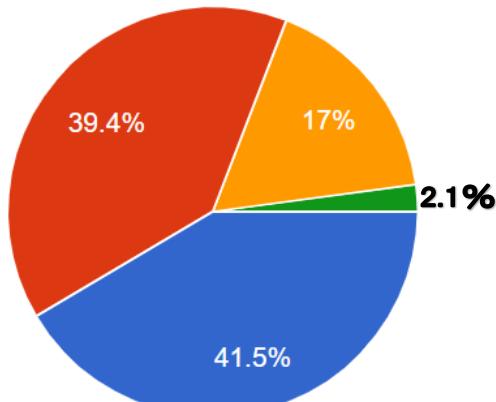
学校でも情報モラルや SNS の利用については危機感をもっており、今年度3年生以上の学年で外部講師（警察や上磯中学校の生徒指導担当）に来てもらい、講座を開きました。ただ、テレビやゲーム、動画視聴や SNS 利用については各御家庭にお願いしなければならないのが現状です。

結果からは、半数以上が注意を払っているとなっていますが、今一度お子さんと使い方や使用時間についてお話をしてみるきっかけにしていただければと思います。

## 質問7 お子さんは、周りの友達に優しい気持ちで接し、仲良くしたり遊んだりしていますか？

94 件の回答

評価平均  
4.2



友達との関わり方が上手でなく、友達に對して乱暴な言葉遣いをしたり、すぐにもめごとになって手が出てしまったり、何か問題が生じた時に話し合って上手に解決できない子が年々増えてきています。

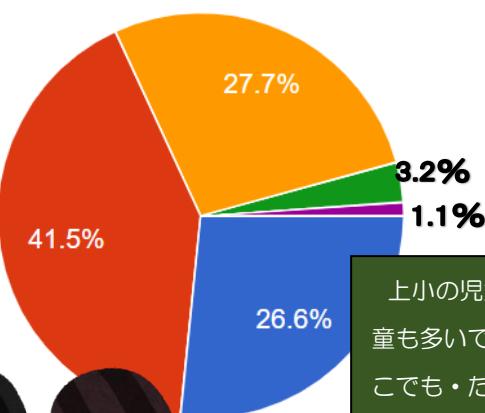
学校では教科の学習ももちろん大切ですが、多くの人と生活する中で必要とされる社会性や協調性も学んでほしいと考えています。

学校行事や授業等を通じて、異学年の人や今まであまり関わりの無かった人とも交流し、より良い社会性を身につけていくようにしていきます。

## 質問8 お子さんは、自分から進んで挨拶をしたり、礼儀正しい行動がとれたりしていますか？

94 件の回答

評価平均  
3.9



上小の児童は、人なつっこく、自分から話しかける児童も多いですが、上小がめざしている「いつでも・どこでも・だれにでも」のあいさつは、まだ十分とは言えません。

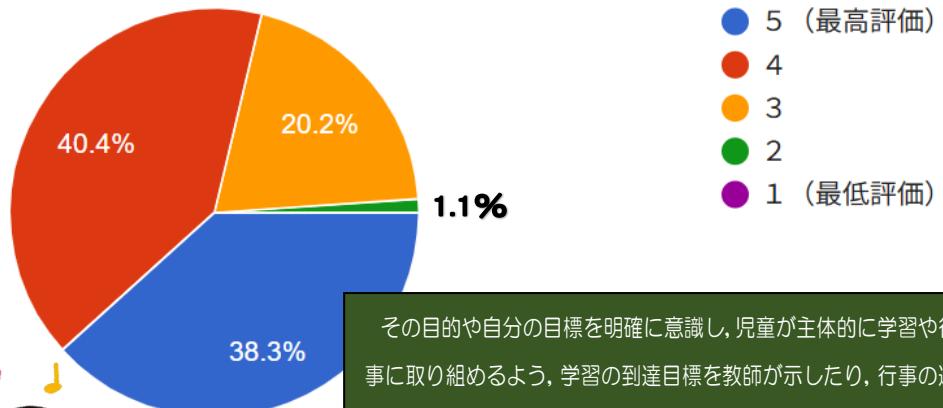
一方で、目上の人に対しても友だちと同じような感覚で接したり、丁寧な言葉遣いができるなど、これからしっかりと礼儀等を身につけていかなければならぬ児童が多いのも現状です。

教育目標「柱3：心づくりに TRY する学校」の実現に向け、『時と場合に応じた挨拶の励行と言葉遣い』について、いろいろな機会を利用しながら引き続き指導を重ねていきます。

## 質問9 お子さんは、学校行事の時に、自分なりに頑張ることを決めて取り組むことができていますか？

94件の回答

評価平均  
4.2



その目的や自分の目標を明確に意識し、児童が主体的に学習や行事に取り組めるよう、学習の到達目標を教師が示したり、行事の運営にも児童が加わるような計画を立てたりしながら、自主性を育んでいきます。

さらに、コロナ禍後、新しい学校行事の形が求められています。児童会が自主的に企画・運営する行事等も積極的に行いながら、自己肯定感等も高めていきます。

## 質問10 お子さんは、普段から地域の方と関りをもったり、地域の行事に参加したりしていますか？

94件の回答

評価平均  
3.8



コミュニティースクールとは…

正式名称を上磯小学校運営協議会（通称：CSいそっこ）と言い、地域と一緒にとなって特色ある学校づくりを進めていく制度のことです。

夜間学校やクリスマスコンサートも、このCS主催で行っており、土曜授業にも協力していただいている。

学校としても教育目標「柱4：つながりにTRYする学校」の実現に向け、平常の授業はもちろんのこと、土曜授業等も活用しながら、積極的に街へ出ての学習を行ったり、学校評議員会やPTAの協力を得て、外部講師による授業を積極的に行ったりしています。

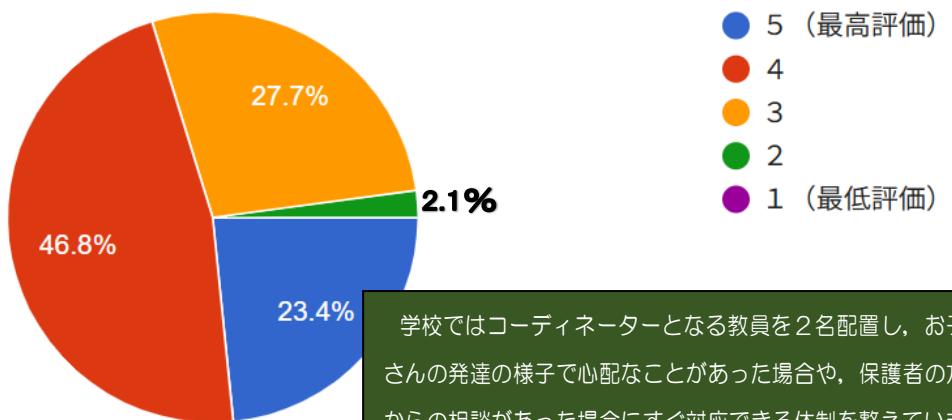
また、コロナ禍の時に中断していた高齢者との交流や幼児との関りも再開しています。

引き続き、関係各機関とも協力しながら、上小がコミュニティースクールとしての役割を果たしていくように努めています。

## 質問1 1 学校は、お子さんに不安なことや困ったことがあった時に、相談できる場になっていますか？

94件の回答

評価平均  
3.9



学校ではコーディネーターとなる教員を2名配置し、お子さんの発達の様子で心配なことがあった場合や、保護者の方からの相談があった場合にすぐ対応できる体制を整えています。

また本校では、「ことばとまなびの教室」を開設しており、発達特性に応じた指導・支援をする場として、他校も含めて多くの保護者や児童に活用していただいています。

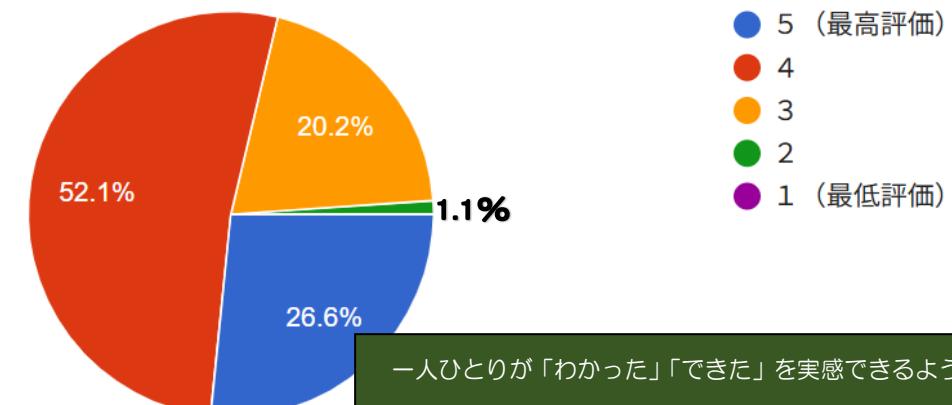
ただ、アンケート結果を見ると、学校が相談できる場にならないと感じている保護者の方もいらっしゃいますので、今後も外部の専門家等とも連携し、子育てや児童の発達について、教職員と保護者の方が共に考えていける場となるよう努力していきます。



## 質問1 2 学校や学級は、お子さんが学習したり生活したりする上で、満足できる場となっていますか？

94件の回答

評価平均  
4.0



一人ひとりが「わかった」「できた」を実感できるような授業づくりにこれからも励むとともに、授業以外の部分でもその子の良さが認められ、自己有用感や自己肯定感が高められるように全教職員で見守っていきます。

# 保護者の皆様からいただいたご意見・ご感想等

アンケートに際しまして、たくさんの保護者の方からご意見・ご感想をいただきました。普段我々教職員が見ることができない、ご家庭でのお子様の様子を教えてくださる方も多く、今後の支援・指導に役立つ部分も多くありました。

全ての投稿を載せることはできませんが、いただいたご意見ご感想につきましては、全教職員が全てに目を通し、授業改善や学校改善、学校行事の起案等の参考とさせていただきます。

以下、いくつかのご意見（一部抜粋あり）を紹介させていただき、学校として回答させていただきます。

勉強も難しくなり、最初は苦戦していましたが、宿題やテストで繰り返し確認していただき、自分の間違えから気づきを得て、次に繋げるよう努力するようになってきました。苦手を作らないように、喜びを感じながら学習できるように、家庭でも頑張っていきたいと思います。

⇒ 学習の基礎となる「平仮名」や「カタカナ」、数の概念などはとても重要であり、学校としても『誰一人取り残さない』を合言葉に、しっかり定着させられるように指導していますが、それだけでは十分ではないお子さんもやはりいらっしゃいます。

2年生で学習するかけ算の九九や4年生で学習する都道府県名、各学年の漢字の書き取りや計算練習などは特に、学校での学習だけでは足りず、ご家庭での練習がどうしても必要になります。

学習内容の定着度は、以後の学習に対する意欲や理解度にも影響すると考えておりますので、各ご家庭には負担をお掛けして申し訳ありませんが、鉛筆の持ち方なども含めてお家でも取り組んでいただけると大変ありがとうございます。

個人面談がせっかく7月になったので、先生から見た子供の様子や注意点など、お話ししてくださいださると思っていましたが、こちらが聞きたいことは無いかとの質問のみで、残念でした。また、プリントや自学ノートに先生のコメントをもらえる事が無いので、情報源が無く、娘の学校での様子がわかりません。

⇒ 学校でのお子さんの様子を保護者の方に知っていただくことは、学校と家庭が連携していく上で、本当に重要なことだと我々も考えています。その中で、保護者の方に上記のような思いにさせてしまったことは、学校としても反省しなければならないですし、早急に改善しなければならない点だと考えています。

参観日や個人懇談、運動会などはお子さんの様子を知っていただく大切な機会ですが、何か不安なことなどがある、学校内でのお子さんの様子についてお知りになりたい場合には、遠慮せずに各担任までご連絡ください。場合によっては、お話をさせていただく機会を設けたり、授業中の様子をご覧いただいたりすることもできるかと思います。

自学ノートや学習プリントについては、各担任が間違いなくしっかりと目を通しておりますが、超過勤務を少しでも減らす目的で、検印のみとさせていただくこととしています。この点につきましては、大変心苦しいのですがご理解いただきたいと思います。

また、学校のホームページや学校便り、各学年通信等でも、個人のプライバシーに配慮しながら、今まで以上に子どもたちの様子についてお知らせできればと思います。

子供の事ではないですが、集金の金額がもう少し早い時期にわかるといいなと思いました。

⇒ 貴重なご意見本当にありがとうございます。集金方法の変更については、PTA総会で議決され、今年度より口座からの引落しとさせていただきました。運用初年度で、ご不便をおかけしたと思いますが、今後少しでも早いお知らせができるよう努めてまいります。

タブレット学習の宿題が多いのはいいのですが、漢字の書き取りがスムーズに行かず、その為にとても時間がかかります。大人が書いてみても途切れたりしてきれいに書くことが出来ません。漢字の書き取りに関しては紙で出すか、他の方法でお願いできたら嬉しいです。また、弟の学年はタブレットケースがきちんとクッションのある物ですが、娘のクラスは連絡袋と同じなので、しっかりとしたタブレットケースを支給していただきたいです。

⇒ 現在は宿題（学校から出された課題）を行うことが中心となっていると思いますが、現在使用している銀色のタブレットでは、おっしゃる通り手書き入力がうまくいかない状況にありました。

ただ、今回北斗市で新しいタブレットを導入し、タッチペン付きのものとなりましたので、今までの煩わしさは、軽減されるのではないかと考えています。本校での本格的な運用は3学期に入ってからとなりますが、OSもグーグルクロムに変更となりましたので、使い方も含めて学校で学習してから、お家へまた持ち帰って活用していくこととなります。引き続き、本校の教育目標の重点である『学びに TRY する子（自ら学び続ける子）』の育成を目指して、家庭での自主学習に積極的に利用してもらえるよう、学校でも指導していきます。

また、タブレットケースですが、基本的に市からは支給されるというものではなく、学校で斡旋したものを購入していただくか、各自でご用意いただいております。（現在使っているクッション付きのケースも学年で揃えて買っていただいたものです。）新しいタブレットの本格的な持ち帰りが始まる頃に、また斡旋させていただきますので、必要でしたらそちらでご注文下さい。

尚、ICT 端末を活用した家庭学習に関する資料（道教委発行）のリンクを貼っておきますのでそちらもご参照ください。

[http://www.curricen2.hokkaido-c.ed.jp/dokyo/gakuryokukojo/tebiki ICTkatuyo\\_katei.pdf](http://www.curricen2.hokkaido-c.ed.jp/dokyo/gakuryokukojo/tebiki ICTkatuyo_katei.pdf)



※大きさは今までとほぼ同じ(ペン収納)

熱中症指数が高い日でも、中休みや昼休みに外遊びをしているようですが、熱中症対策のために外遊びを中止することはないのでしょうか？すごく暑い日は、屋内で過ごす方がいいと思いました。

⇒ 学校では、環境省「熱中症予防情報サイト」に掲載されている、毎日の北斗市の予測を参考に、適宜デジタル熱中症計を使用して実際に外の指数を図るなどしながら、外遊びの可否について判断をしております。指数が基準以上の場合には休み時間の外遊びや体育の外での授業を中止しております。児童玄関にある掲示板には、外遊びの可否だけではなく、熱中症の危険度も表示し、全校児童に周知しています。

また、外遊びが可能な場合でも、帽子の着用や水分の補給を必ずすることなどを徹底とともに、校舎内だけでなく外にも見守りのための教員を配置し、声掛けをしながら熱中症予防に取り組んでいます。

お忙しい中、アンケートに御協力いただき本当にありがとうございました。  
後期の結果の公表は、HP 上で2月を予定しております。

上磯小学校